

成果報告書

(地域文化倶楽部創設支援事業)

特定非営利活動法人 静岡地域教育芸術協会

所在地	静岡県三島市	設立年	2007年
運営主体	特定非営利活動法人 静岡地域教育芸術協会		
事業目標	少子化の進展により中学校1校あたりの生徒数が減少している。相対的に教員の人数も減少し、吹奏楽部の顧問となる教員が各校で不足している現状がある。 また、教員の働き方改革を踏まえ、教員の献身的な勤務に頼ってきた吹奏楽部の活動について、外部人材を登用する必要が生じており、吹奏楽を楽しみたい生徒が高額な費用負担なく地域で活動できる受け皿となるスキームを構築し、活動を行う。さらに、市内の吹奏楽を希望する児童を受け入れることで、切れ目のない楽器体験を実現することができる		
きっかけ	三島市立南中学校吹奏楽部の顧問教諭が他校へ配属され、当該部活動の指導者が不在となったことから、学校長と本協会理事長が協議を行い、設立することとなった。		
団体・組織等の連携	地域の音楽家の協力をいただき、パート指導を手厚く実施した。		
活動場所	三島市立南中学校音楽室		
活動概要	合奏を18回、パートレッスンを9回、各3時間ずつ予定した。合計27回の集会計画だったが、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置で会場が使用できず、12回はキャンセルとなった。		

○本事業による成果

従来の活動の成果のみではなく、本事業を実施したことにより得られた成果について記載すること。(数値やグラフで示すものがあれば望ましい)

生徒たちは、学校の部活動が大幅に制限され、モチベーションが十分に得られない環境の中、本事業に参加することによって、演奏への積極性をもった行動、自主的な練習、打楽器運搬などの共同作業、他校生徒との活動により能動的なコミュニケーションなど、多くの成果を得ることができた。また、専門家による多数のレッスンや合奏によって、生徒たちの演奏能力の向上が顕著に表れ、アンケート調査でもその結果と満足度は大変に高いことが把握できている。

※演奏技術の向上ができた、という設問に対し、十分にできた=50%、まあまあできた=42%で、できたと回答した生徒が合計92%となっている。また、つまらなかった活動については、100%の生徒が「なし」と回答している。

○児童・生徒への指導に関する工夫

指導を行う上で独自で工夫していることについて記載すること。

パート指導や合奏指導においては、音楽大学または同等のレベルを持ち、かつ指導や演奏の経験豊富な人材を登用し、生徒のモチベーションを保つことができた。その結果、アンケート調査では、「技術を上げることができた」、「成長を感じる事ができた」、「専門的な知識をたくさん教わった」、「どれも新しい経験ばかりだった」、「真剣にやる空気が良かった」、などの自由記述をほとんどの生徒が記載している。

○運営上の工夫

運営上、工夫している点を記載する。

NPO法人として日々活動する私たちが運営主体となることで、保護者や指導者との連絡調整などは、事務局員などがEメールやLINEを使用し、スムーズに行うことができました。大型楽器の保管場所についても、当NPOと信頼関係のある学校長の協力で音楽室近くのスペースに保管することができました。

○継続的な運営に関する課題・展望

活動場所、指導者、活動経費、教育機関や地域等との連携等、様々な観点からの課題と展望を記載する。

残念ながら、本市教育委員会の展望方針や、活動場所の音楽教員の理解不足から、来年度への継続事業とはなりません。

○令和5年度からの学校部活動の段階的な地域移行に関する方針・計画

上記の課題をどのように解決し取り組んでいくのか、方針や計画を記載する。

来年度は活動がないため、不記載とします。

※上記4点の記載の中に活動の画像を挿入してもよい。

※『地域移行(展開)を進める際のポイントチェックリスト』を参照すること。

参加者 (予定人数)	対象学年 人数 今後の予定人数
募集方法	例)チラシ配布、ポスター掲示、学校での通知
指導者	例)教員OB 2名、連携団体からの実演家1名
移動手段	例)保護者による送迎 (学校外で実施する場合)
活動費用	活動に係る主な費用について記載する。 例)2,000円/回
スケジュール	年間スケジュール等を記載する。
保険加入等	保険種別・対象人数等を記載する。

※文化庁ホームページ:地域文化倶楽部(仮称)の創設に向けた検討会議 [事例集](#)を参照

掲載URL

(https://www.bunka.go.jp/shinsei_boshu/kobo/pdf/92801101_09.pdf)

※それぞれの項目に掲載しているのはあくまで例示ですので、掲載しているもの以外の観点等で自由に記載していただいて結構です。ただし、どこかの項目に学校の働き改革(教員の負担軽減)を踏まえた観点の記述を必ず入れていただきますようお願いいたします。(本事業の最大の目的であるため)

